

令和4年10月 斐伊川水系水質情報

令和4年10月(宍道湖3日・中海13日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	4.1	△	平 年 並 み	4.3	×	やや高い	5.3	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0.51	△	平 年 並 み	0.45	△	平 年 並 み	0.61	△	平 年 並 み
全リン	上層	0.031	△	平 年 並 み	0.051	△	平 年 並 み	0.074	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	6.1	○	良 好	25	×	やや高い	33	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	3,200	△	平 年 並 み	12,000	△	平 年 並 み	11,300	△	平 年 並 み
	下層	3,530	△	平 年 並 み	16,300	△	平 年 並 み	12,400	△	平 年 並 み
溶存酸素	上層	8.7		やや低い	10.0		平 年 並 み	10.7		平 年 並 み
	下層	8.3		平 年 並 み	3.3		平 年 並 み	9.2		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4.6	やや下降	4.1	横ばい	4.6	やや上昇
全窒素	上層	0.54	横ばい	0.46	横ばい	0.56	横ばい
全リン	上層	0.060	やや下降	0.051	横ばい	0.074	横ばい

宍道湖の透明度は2.0mから2.4mと上昇し、かなり良好。中海の透明度は2.3mから2.4mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は1.9mから1.7mと横ばいで、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値＋標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値	×	<やや高い>
10年間平均値	△	<平年並み>
平均値－標準偏差値		ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
平均値－標準偏差値の3倍	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%